

3. FAネットワークについて

産業用Ethernetケーブルについて

産業用Ethernetにおいては、耐油・耐ノイズ性等が必要となるシーンが多く、耐油性シースや2重シールド付きの産業用Ethernetケーブルのご使用を推奨いたします。弊社では長年に渡りFA分野に携わり、多様化するニーズにお応えするため、多彩な産業用Ethernetケーブルをご提案致します。

CC-Linkの配線仕様

■ 接続ケーブル

CC-Link専用ケーブル(3心ケーブル)を使用します。新規設備の場合には原則としてVer.1.10タイプのケーブルを使用してください。

■ CC-Link可動部用ケーブルの使用長について

可動部用のケーブルについては、標準ケーブルよりも最大ケーブル総延長が短くなります。標準ケーブルに対して伝送できる長さが30%、50%、70%の3種類が規定されており品名の末尾にそれぞれ-3,-5,-7をつけて表記することとなっています。例えば弊社のFANC-110SBZ-5の場合には、10Mbpsにおける伝送可能距離は最大50mまでとなります。また、10Mbps時に可動部用ケーブル(50%タイプ)を10m使用した場合、残りを標準ケーブルで配線する場合には、標準ケーブルの長さは最大80mまでとなり、トータル90mまでの配線が許容されます。詳細はCC-Link敷設マニュアルをご参照ください。

CC-Link協会ホームページ (<https://www.cc-link.org/>)



DeviceNetの配線仕様

■ 接続ケーブル

通信線と電源線が一体になった専用ケーブルがDeviceNet仕様にて規定されています。弊社ではTHINタイプとTHICKタイプをラインナップしています。

■ 接続仕様

スター結線、マルチドロップ、T分岐など自由度の高い配線が可能です。通信速度及び使用するケーブルの種類によって、幹線の最大の長さが異なります。詳細はODVAホームページをご参照ください。

ODVA TAG Japanホームページ (<https://odvatagjapan.iinaa.net/>)



PROFIBUS-DPの配線仕様

■ 接続ケーブル

特性インピーダンス150Ωの専用ケーブルを使用します。

■ 接続仕様

通信速度が3Mbps以上の高速な場合には機器間のケーブル長を1m以上にすることが推奨されています。詳細は日本プロフィバス協会発行の「PROFIBUS DPケーブルと機器設置の解説」等をご参照ください。

日本プロフィバス協会ホームページ (<http://www.profibus.jp/>)



CompoNetの配線仕様

■ 接続ケーブル

専用フラットケーブルI(シース無し仕様)、専用フラットケーブルII(シース有り仕様)、丸型ケーブルI(2心VCTFケーブル)、丸型ケーブルII(4心VCTFケーブル)が使用可能です。弊社では、CompoNet仕様に適合したケーブル、KOMPシリーズをラインナップしています。

■ 接続仕様

マルチドロップ、T分岐などの自由度の高い配線が可能です。通信速度及び使用するケーブルの種類、支線の有無によって、幹線の最大の長さが異なります。詳細はODVAホームページをご参照ください。

ODVA TAG Japanホームページ (<https://odvatagjapan.iinaa.net/>)

